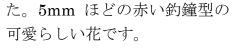
<梅雨空に>アジサイの花の藍色が目に染みます。ただ赤 い花や緑の葉もあってこそ藍が映えるのでしょう。"あじ さい"と"アジサイ"、平仮名の方が優しくて似合いそう です。ところで漢字の"紫陽花"はもともと別の花の名だ ったのが平安の昔に間違えられたとのことです。でも趣が あって間違いのままで良いと思いませんか。花の色が様ざ まに変化することから"八仙花"とも言いますがやはり"紫

陽花"! 写真のアジサイはホンアジサイです。 花の周りにだけ装飾花のあるヤマアジサイやガ クアジサイも趣がありますね。

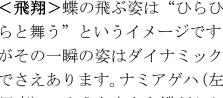
<梅雨の晴れ間に>久しぶりに富士が姿を見せ ました。随分と雪が少なくなりましたが雑木林 の緑とあいまって初夏を感じさせます。「目に青

葉 山ほととぎす 初鰹」、キャンパスではホトトギスの鳴 き声も聞こえます。あとは食欲をどう満たしたものか---。一 方、ノアザミの青紫が背の低い野原で目に付きます。 花には ヒメシジミもやってきています。卵を産んでいるのでしょう か。またちょっと時期が外れ気味ですがノビルの花も見られ ます。ノビルの根っこ (鱗茎) は小さな玉ねぎのようで軽く 茹でて酢味噌で食すると美味とのことです。少し調べてみ

ましたが、玉ねぎより昔に日本にやってきたようで古事記 や万葉集にも登場します。(ノビル:野蒜) 天皇も野草を摘みに野に出 かけられたのでしょうね。"いざこども野蒜摘みに蒜摘みに"(古事記、応仁天皇) ビオトープではウツギの華やかな白が終わろうとしていま すが目立たず何食わぬ顔でナツハゼが花を咲かせていまし



<飛翔>蝶の飛ぶ姿は"ひらひ らと舞う"というイメージです がその一瞬の姿はダイナミック でさえあります。ナミアゲハ(左 写真) のような大きな蝶だから



でしょうか。シジミチョウでは

花びらがそよ風に舞うような感じですね。そう言えば今あち こちでミズイロオナガシジミが見られます。ちょっと見には どちらが頭か尻尾か分かりません。天敵への"目くらまし" ←<ミズイロオナガシジミ> でしようか。 (文と写真:松本正勝)







<ノアザミ>





